

(質問)

前回の東海地震（1854年「安政東海地震」）のときには、山梨県内でどれくらいの被害が出たのですか。

(回答)

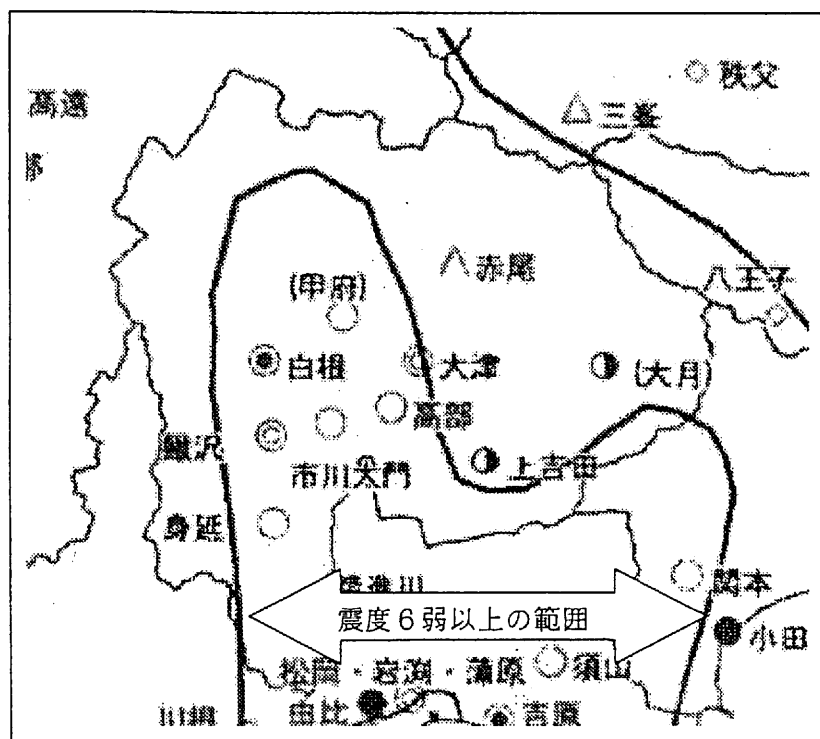
1854年12月23日に発生した安政東海地震では、山梨県内の広い範囲（下図参照）にわたって震度6以上（一部は震度7）の大震災となり、「甲府では町屋7割方潰れ、鵜沢では住家9割潰れ、…」という大きな被害が出ました。（死者は、約150人と推定）

（「地震の事典」第2版（朝倉書店）P.599、「新編・日本被害地震総覧」（増補改訂版1996年、東京大学出版会）P.133～135等を参照）

「甲府市誌」（甲府市役所・編纂）にある当時の市民の日記には、「もはや、家々の棚より落ちる音はなはだしく、歩行立つことを得ず、しばらくするうち、ようやく揺れやみ、上下を見渡すに、家土蔵の崩れし土煙りにて一帯に暗く、月夜のごとし」とあります。

また、「甲府略志」には、「甲府に大火が起こり、勤番支配は社倉より米・味噌・塩を放出して罹災民に施す」とあります。

このような大地震が、やがて（まもなく）本県にも再来すると考えられています。



- (凡例)
- ◎ …震度7
 - …震度6強
 - …震度6弱
 - …震度5強

(問い合わせ先)

連絡先 山梨県総務部消防防災課
担当 防災対策担当
電話 055(223)1432
FAX 055(223)1439
E-Mail shobo@pref.yamanashi.jp